

(11)Publication number : 2001-229246

(43)Date of publication of application : 24.08.2001

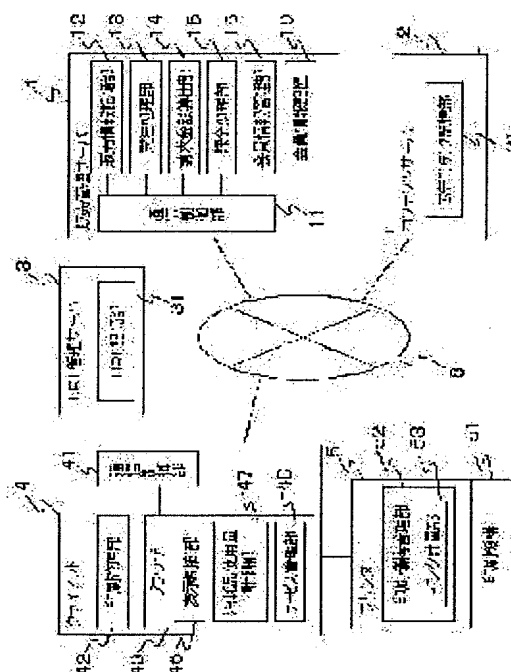
G06F 17/60  
G06F 13/00

(71)Applicant : SEIKO EPSON CORP

(72)Inventor : TANAKA SHINJI

(57)Abstract:

**SOLUTION:** This system is provided with a sales management server 1, a contents server 2, a URL management server 3, a client 4 and printer 5. When the client 4 acquires advertisement contents from the server 2 and prints the advertisement contents, a consumable use quantity measuring part 41 measures ink quantity used for the printing. The ink use quantity is stored in a member information storing part 19, and discount is available in accordance with the ink use quantity when the user purchases merchandise, etc., on-line.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-229246

(P2001-229246A)

(43) 公開日 平成13年8月24日 (2001.8.24)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	ターマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 13/00	3 5 5 5 B 0 4 9
13/00	3 5 5	15/21	3 3 0 5 B 0 8 9
			3 4 0 A

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-37284(P2000-37284)

(22) 出願日 平成12年2月15日 (2000.2.15)

(71) 出願人 000002369

セイコーエプソン株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

(72) 発明者 田中 慎治

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

(74) 代理人 100084032

弁理士 三品 岩男 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 BB11 BB49 CC08 CC39 DD01

DD04 EE01 EE07 EE23 FF02

FF03 FF04 GG04 GG07 GG09

5B089 GA11 GA21 GB01 GB04 JA08

JA33 KA15 KB07 KB12 LB12

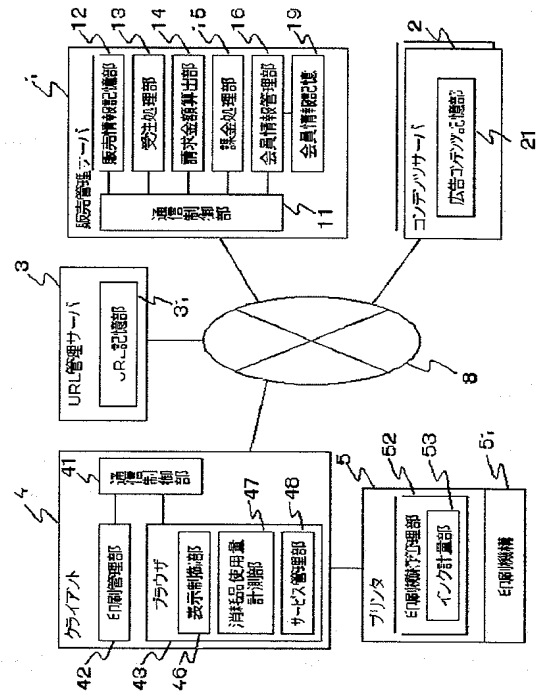
MC01

(54) 【発明の名称】 広告印刷費用補填処理方法および割引販売システム

(57) 【要約】

【課題】 広告情報の利用者が広告情報を印刷したときに、当該広告情報の提供者が広告費用を負担するシステムの提供。

【解決手段】 販売管理サーバ1と、コンテンツサーバ2と、URL管理サーバ3と、クライアント4と、プリンタ5と、を備える。クライアント4がコンテンツサーバ2から、広告コンテンツを取得して印刷すると、消耗品使用量計測部41が当該印刷で使用したインク使用量を計測する。インク使用量は会員情報記憶部19に記憶され、ユーザがオンラインで商品等を購入する際に、インク使用量に応じて割引が受けられる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】予め定めた消耗品について印刷に伴って生じた消費量を示す情報と、当該情報送信しているクライアントを識別する識別情報とを含む、特定の広告情報について印刷がなされたことを示す情報を受信して、蓄積し、オンラインによる取引に関し、クライアントからの注文を受け付けると、当該クライアントの識別情報に基づいて、前記蓄積されているそのクライアントについての前記消費量を示す情報を読み出し、その消費量を示す情報に基づいて、前記注文の対価に関する割引処理を行うことを特徴とする広告印刷費用補填処理方法。

【請求項2】予め定めた消耗品について印刷に伴って生じた消費量を示す情報と、当該情報を送信しているクライアントを識別する識別情報とを含む、特定の広告情報について印刷がなされたことを示す情報を受信して、蓄積し、オンラインによる取引に関し、クライアントからの注文を受け付けたサーバから、当該クライアントの識別情報に基づいて、そのクライアントについての前記消費量を示す情報の提示の要求を受けると、該当する消費量を示す情報を要求元のサーバに送信することを特徴とする広告印刷費用管理方法。

【請求項3】広告に関する広告情報を記憶する広告サーバと、顧客への商品の販売または役務の提供を管理する販売管理サーバと、プリンタを備える顧客装置と、を備える割引販売システムであって、

前記顧客装置は、

前記販売管理サーバへ商品または役務の発注をする発注手段と、

前記広告サーバから前記広告情報を取得する取得手段と、

前記取得手段が取得した前記広告情報を前記プリンタに送信して印刷指示をする印刷指示手段と、

前記プリンタが当該広告情報の印刷に要した消耗品使用量を計測する計測手段と、

前記計測手段が計測した前記消耗品使用量を示す情報を前記管理サーバへ送信する送信手段と、

前記販売管理サーバは、

前記顧客装置からの発注を受けて、受注する受注手段と、

前記顧客装置が送信した前記消耗品使用量を示す情報を受信する受信手段と、

前記受信手段が受信した前記消耗品使用量を示す情報を、前記顧客を識別する情報と対応付けて記憶する記憶手段と、

前記受注手段が受注した商品または役務の代金から、当該顧客の前記使用量に応じた割り引きを行って請求金額を決定する請求金額決定手段と、

前記請求金額決定手段が決定した請求金額を、当該顧客

へ課金する課金手段と、を備えることを特徴とする割引販売システム。

【請求項4】請求項3記載の割引販売システムであって、

前記販売管理サーバは、

前記1以上の広告サーバを一意に識別して、アクセス可能とする識別情報を記憶する識別情報記憶手段をさらに備え、

前記顧客装置は、

前記取得手段が前記広告サーバから前記広告情報を取得したとき、当該広告サーバの識別情報が、前記識別情報記憶手段が記憶している前記識別情報に含まれるかどうかを判別する判別手段をさらに備え、

前記計測手段は、

前記判別手段による判別の結果、前記広告サーバの前記識別情報が前記識別情報記憶手段に含まれる場合、前記消耗品使用量の計測を行うことを特徴とする割引販売システム。

【請求項5】請求項3および4のいずれか1項に記載の割引販売システムであって、

前記消耗品使用量は、インク使用量であることを特徴とする割引販売管理システム。

【請求項6】請求項5に記載の割引販売システムであって、

前記商品は、前記プリンタ用のインクであることを特徴とする割引販売管理システム。

【請求項7】広告情報を取得して印刷を行う1以上の顧客装置と接続される販売管理サーバであって、

前記顧客装置からの発注を受けて、受注する受注手段と、

前記顧客装置から広告情報の印刷に要した消耗品使用量を示す情報を受信する受信手段と、

前記受信手段が受信した前記消耗品使用量を示す情報を、前記顧客を識別する情報と対応付けて記憶する記憶手段と、

前記記憶手段を参照して、前記受注手段が受注した商品の代金から当該顧客の前記消耗品使用量に応じた割り引きを行い、当該顧客への請求金額を決定する請求金額決定手段と、

前記請求金額決定手段が決定した前記請求金額を、当該顧客へ課金する課金手段と、を備えることを特徴とする販売管理サーバ。

【請求項8】広告情報を記憶する1以上の広告サーバ、および、前記1以上の広告サーバを一意に識別して、アクセス可能とする識別情報を記憶する管理サーバと、ネットワークを介して接続されるクライアントであって、前記広告サーバへのアクセス要求を受け付けるアクセス要求受付手段と、

前記アクセス要求受付手段が受け付けたアクセス要求のあった広告サーバの前記識別情報が、前記管理サーバが

記憶している前記識別情報に含まれるかどうかを前記管理サーバへ照会する照会手段と、  
前記照会手段が照会した結果、当該広告サーバの前記識別情報が前記管理サーバが記憶している前記識別情報に含まれる場合、当該広告サーバから取得する前記広告情報の印刷指示を受付可能とする印刷受付手段と、を備えることを特徴とするクライアント。

【請求項9】請求項8記載のクライアントであって、  
前記受付手段が受け付けたアクセス要求のあった広告サーバから前記広告情報を取得する広告情報取得手段と、  
前記広告情報取得手段が取得した前記広告情報を表示する広告情報表示手段と、  
前記印刷受付手段が印刷指示を受け付けると、プリンタへ前記表示手段が表示している当該広告情報の印刷を指示する印刷指示手段と、をさらに備えることを特徴とするクライアント。

【請求項10】広告情報を記憶する1以上の広告サーバ、および、前記1以上の広告サーバを一意に識別して、アクセス可能とする識別情報を記憶する管理サーバと、ネットワークを介して接続されるクライアントに実行させるプログラムを記録した記録媒体であって、  
前記プログラムは、  
前記広告サーバへのアクセス要求を受け付けるステップと、  
前記アクセス要求受付手段が受け付けたアクセス要求のあった広告サーバの前記識別情報が、前記管理サーバが記憶している前記識別情報に含まれるかどうかを前記管理サーバへ照会するステップと、  
前記照会手段が照会した結果、当該広告サーバの前記識別情報が前記管理サーバが記憶している前記識別情報に含まれる場合、当該広告サーバから取得する前記広告情報の印刷指示を受付可能とするステップと、を有することを特徴とする記録媒体。

【請求項11】広告情報を記憶する1以上の広告サーバ、および、前記1以上の広告サーバを一意に識別して、アクセス可能とする識別情報を記憶する管理サーバと、ネットワークを介して接続されるクライアントに実行させるプログラムであって、  
前記広告サーバへのアクセス要求を受け付けるステップと、  
前記アクセス要求受付手段が受け付けたアクセス要求のあった広告サーバの前記識別情報が、前記管理サーバが記憶している前記識別情報に含まれるかどうかを前記管理サーバへ照会するステップと、  
前記照会手段が照会した結果、当該広告サーバの前記識別情報が前記管理サーバが記憶している前記識別情報に含まれる場合、当該広告サーバから取得する前記広告情報の印刷指示を受付可能とするステップと、を有することを特徴とするプログラム。

【請求項12】コンピュータに実行させるためのプログ

ラムを記録した記録媒体であって、  
前記プログラムは、  
ネットワークを介して他のコンピュータから取得したコンテンツを表示させる領域と、  
前記表示中のコンテンツの印刷指示を受け付ける第1の印刷受け付け領域と、  
前記コンテンツを取得した取得元のコンピュータの識別情報が、予め記憶されている所定のコンピュータの識別情報群に含まれる場合、当該表示中のコンテンツの印刷指示を受け付け可能とする第2の印刷受付領域と、  
を有する画面をコンピュータの表示装置に表示させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、広告利用者が広告提供者に代って広告情報を印刷した場合における費用負担の処理を行う技術に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットでは、多くの企業等が自己の商品や役務に関するさまざまな広告情報や、製品のカタログ情報等をホームページ上に掲載している。これらのホームページにアクセスするインターネットユーザは、企業等から見れば潜在的な需要者である。従って、企業等にとっては、広告情報はできるだけ多くのユーザの目に留まることが望ましい。広告情報がユーザによって印刷されれば、印刷したユーザ本人のみならず、周囲の人間も含め、潜在的な顧客の目に留まる機会がより多くなり、その広告効果の増大が期待できる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ユーザが広告情報の印刷を行うと、当該印刷で消耗する用紙等の印刷媒体とインクやトナー等の画像形成媒体の費用は、ユーザ自身が負担することになる。このため、一般的には、ユーザによるインターネット上の広告の印刷の実行は、それほど期待できない。広告の効果を考えると、企業等は、たとえ広告印刷に要する費用の実費相当額を負担してでも印刷してもらうことは意義がある。そこで、広告印刷に対し、何らかの費用負担を行うことが考えられる。

【0004】本発明は、広告費用の負担処理を行う技術を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため、まず、印刷に伴って生じた消耗品の消耗量を示す情報と、当該情報送信しているクライアントを識別する識別情報とを含む、特定の広告情報について印刷がなされたことを示す情報を受信して、蓄積する。そして、オンラインによる取引に関し、クライアントからの注文を受け付けると、当該クライアントの識別情報に基づいて、前記蓄積されているそのクライアントについての前記消

耗量を示す情報を読み出し、その消耗量を示す情報に基づいて、前記注文の対価に関する割引処理を行う。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について、図面を用いて説明する。

【0007】図1は、本発明の実施形態にかかるオンライン販売システムの全体構成を示す図である。本実施形態にかかるシステムは、販売管理サーバ1と、1以上のコンテンツサーバ2と、URL管理サーバ3と、クライアント4を備える。販売管理サーバ1、コンテンツサーバ2およびクライアント4は、ネットワーク8を介して接続されている。クライアント4には、プリンタ5が接続されている。販売管理サーバ1、コンテンツサーバ2、URL管理サーバ3、およびクライアント4は、いずれも一般的なコンピュータを利用することができる。

【0008】販売管理サーバ1は、通信制御部11と、販売情報記憶部12と、受注処理部13と、請求金額算出部14と、課金処理部15と、会員情報管理部16と、会員情報記憶部19とを有する。これらの機能は、例えば、プログラムを実行することにより実現される。

【0009】通信制御部11は、ネットワーク8を介して他の機器と行うデータ送受信等の通信を制御する。例えば、クライアント4と受注のための情報を送受信したり、インク使用量を示す情報を受信する。

【0010】販売情報記憶部12は、会員に対して販売する商品や提供する役務に関する情報を記憶する。商品または役務に関する情報は、例えば、HTML (Hyper Text Markup Language) 文書やイメージデータ等で構成されていて、ネットワーク8を介してクライアント4が取得可能である。

【0011】受注処理部13は、クライアント4からの発注を受けて、当該クライアントを操作している会員顧客から商品または役務について受注する。受注処理部13が受注すると、受注した商品または役務に関する情報を、請求金額算出部14へ通知する。

【0012】請求金額算出部14は、商品または役務に対する請求金額を決定する。請求金額算出部14は、請求金額の決定に際し、ユーザに対してインク使用量に応じた費用の還元を行う。例えば、後述する会員情報記憶部19に記憶されている会員情報190 (図2参照) のインク使用量197に応じて割引を行い、請求金額を決定する。請求金額は課金処理部15へ通知される。割引の程度は、例えば、インクの実費相当額とすることが考えられる。

【0013】課金処理部15は、請求金額算出部14から通知を受けた請求金額を、当該顧客に対する支払い請求として、クライアント4に通知する。一方、課金処理部15は、前記請求についての決済請求を行う。例えば、会員情報管理部16から会員情報記憶部19に記憶されている会員のクレジットカード情報196を受け取

り、通知を受けた請求金額と併せて、図示しないクレジットカード会社のコンピュータに送信し、決済する。また、クレジットカード会社へ送信する代りに、送信すべき情報を図示しないプリンタからリストとして出力して、この出力されたリストに基づいて後日決済の請求をするようにしてもよい。

【0014】会員情報管理部16は、会員情報記憶部19の入出力、更新等を管理する。例えば、クライアント4からインク使用量の通知を受けたとき、および、請求金額算出部14でインク使用量197に応じた割引を行ったときは、インク使用量197を更新する。

【0015】会員情報記憶部19は、会員情報を記憶する。会員情報は、データ項目として、例えば、図2に示すように、会員ID191、氏名192、住所194、E-mailアドレス195、クレジットカード情報196、インク使用量197を有する。会員ID191は、会員である顧客個人を特定するものであってもよいし、会員が利用するコンピュータを特定するものであってもよい。クレジットカード情報196は、印刷代金の支払いを証明するための支払証明情報として機能する。これには、例えば、クレジットカード会社の識別情報、クレジットカードの番号、および、当該カードの有効期限等が含まれる。これらの項目は、例えば、会員登録時に取得される。インク使用量197は、インクの吐出回数をそのまま記憶していてもよいし、所定の換算レートで換算してポイント化しておいてもよい。

【0016】コンテンツサーバ2は、広告コンテンツ記憶部21を備える。広告コンテンツ記憶部21には、広告に関するコンテンツが記憶されている。この広告コンテンツは、例えば、HTML文書、イメージデータ等で構成されていて、ネットワーク8を介してクライアント4が取得可能である。なお、広告コンテンツには、プリンタの印刷サンプルを印刷するための情報も含まれる。

【0017】URL管理サーバ3は、URL記憶部31を備える。URL記憶部31は、本システムにコンテンツを提供するコンテンツサーバ2のURL (Uniform Resource Locator) を記憶する。ここに記憶するURLは、クライアント4から参照可能である。また、コンテンツサーバ2の追加や削除があれば、随時更新される。

【0018】クライアント4は、通信制御部41と、印刷管理部42と、ブラウザ43とをその内部機能として備える。これらの機能は、例えば、プログラムを実行することにより実現される。このクライアント端末40には、キーボード、マウス等の入力装置61と、CRT、液晶ディスプレイ等の表示装置62とが接続される。

【0019】通信制御部41は、ネットワーク8を介して他の機器と行うデータ送受信等の通信を制御する。例えば、コンテンツサーバ2へアクセスして広告コンテンツを取得し、販売管理サーバ1と商品または役務発注のための情報を送受信する。また、消耗品の消耗量を示す

情報として、例えば、インク使用量を示す情報を送信する。

【0020】印刷管理部42は、ブラウザ43から印刷依頼を受けて、データ変換を行って、プリンタ5へ印刷データを送信する。例えば、ブラウザ43から広告コンテンツの情報を受けて、プリンタ5が印刷可能な印刷データに変換して、プリンタ5へ送信する。

【0021】ブラウザ43は、さらに、表示制御部46と、消耗品使用量計測部47と、サービス管理部48とを備える。

【0022】表示制御部46は、コンテンツサーバ2および販売管理サーバ1から取得したコンテンツを表示する表示画面100を表示装置62に表示する。さらに、表示制御部46は、この画面に対するユーザの操作を受け付ける。表示画面100は、例えば、図3に示すように、URL入力領域101と、コンテンツ表示領域102と、広告印刷ボタン103と、通常印刷ボタン104とを有する。

【0023】URL入力領域101は、ユーザがアクセスしたいURLの入力を受け付ける。あるいは、コンテンツ表示領域102に表示されているコンテンツの取得元のURLを表示する。

【0024】コンテンツ表示領域102は、販売管理サーバ1から取得した商品または役務情報またはコンテンツサーバ2から取得した広告コンテンツを表示する。商品情報または役務情報が表示されているときは、ユーザは、表示に従って、商品購入または役務提供を受けるための発注をすることができる。表示制御部46は、受け付けた発注情報を販売管理サーバ1へ送信する。

【0025】広告コンテンツが表示されているときに、ユーザによって広告印刷ボタン103が押下されると、表示制御部46は、コンテンツ表示領域102に表示中のコンテンツの印刷指示を受け付ける。印刷指示を受け付けると、広告コンテンツを印刷管理部42へ渡し、プリンタ5で印刷が行われる。また、印刷指示を受け付けると、消耗品使用量計測部47へその旨が通知され、当該広告コンテンツの印刷に要した消耗品の使用量が計測される。

【0026】ただし、広告印刷ボタン103は、ユーザからの押下を受け付けるアクティブ状態と、グレイアウトして押下を受け付けないノンアクティブ状態とを有する。これについては後述する。

【0027】通常印刷ボタン104が押下されると、コンテンツ表示領域102に表示されているコンテンツが印刷管理部42へ渡されて、プリンタ5で印刷が行われる。この場合、消耗品使用量計測部47へは何も通知しないので、消耗品使用量の計測以降の処理は行われない。

【0028】消耗品使用量計測部47は、プリンタ5が広告コンテンツの印刷時に消費する消耗品の使用量を計

測する。消耗品としては、たとえば、インクまたは紙の使用量を計測する。ここでは、インク使用量について具体的に説明するが、紙の使用量について行ってもよいし、両方を組み合わせてもよい。表示制御部46から印刷指示の通知を受けると、消耗品使用量計測部47は、インク計量部53（詳細については後述する。）の値をプリンタ5へ問い合わせる。そして、プリンタ5から印刷終了の通知を受けたとき、またはユーザが印刷途中でキャンセルをしたときは、再びインク計量部53の値をプリンタ5へ問い合わせ、開始前との差分から使用したインク量を算出する。算出したインク使用量は、会員IDと併せて販売管理サーバ1へ送信する。

【0029】なお、印刷途中でキャンセルした場合には、完全な広告印刷が得られない。そのため、消耗品の費用還元を行わないこととしてもよい。従って、この場合には、それまでに計測したインク計量部53をクリアする。

【0030】サービス管理部48は、表示制御部46がコンテンツサーバ2から広告コンテンツを取得したとき、当該コンテンツサーバ2のURLが、URL管理サーバ3のURL記憶部31に記憶されているURLに含まれるかどうかを判別する。判別方法は、新たなコンテンツサーバ2へアクセスするごとに、URL管理サーバ3へ照会して、判別結果を受信することで行える。また、URL記憶部31の内容をすべてダウンロードして、サービス管理部48内に保持しておき、これを参照して判別を行ってもよい。ダウンロードする場合、一定時間間隔で更新する必要がある。この判別の結果、当該コンテンツサーバ2のURLが、URL記憶部31に含まれている場合、表示画面100の広告印刷ボタン103をアクティブにし、含まれていない場合はノンアクティブにする。

【0031】こうすることで、URL記憶部31に記憶されていないURLから取得したコンテンツは、通常印刷ボタン104を押下して印刷することはできるが、広告印刷ボタン103を押下することで印刷することはできない。すなわち、URL記憶部31に記憶されていないURLから取得したコンテンツを印刷しても、本システムで提供されるサービスの対象外である。

【0032】なお、このブラウザ43は、会員登録時等に販売管理サーバ1等からダウンロードすることができる。

【0033】プリンタ5は、例えばカラー印刷が可能なインクジェットプリンタであり、クライアント4から印刷データを受信したときに、プリンタ5を用いて、所定の印刷プロセスを実行して印刷用紙に画像を形成する。このプリンタ5は、実際に印刷を行う印刷機構51を有する。また、その内部機能として、印刷機構51の管理を行う印刷機構管理部52を有する。印刷機構管理部52は、さらに、印刷機構51で画像形成に使用するイン

クの使用量が計測可能なインク計量部53を備える。インク計量部53は、例えば、図示しないインクヘッドがインクを吐出した回数を記憶し、カウンタで構成することができる。カラープリンタ等で、インク種類が複数あるときは、各インクごとにインク計量部53を備える。

【0034】次に、本実施形態にかかるシステムの処理概要について説明する。

【0035】図4は、広告コンテンツ印刷処理時のフローチャート図である。

【0036】ユーザが指定したURLへアクセスして、ブラウザ43がコンテンツサーバ2から広告コンテンツを取得して、表示画面100に表示する(S101)。サービス管理部48がURL管理サーバ3へ照会して、当該コンテンツサーバ2のURLがURL記憶部31に含まれるかどうかを判別する(S102)。含まれない場合は、表示画面100の広告印刷ボタン103をノンアクティブにする(S111)。含まれる場合は、広告印刷ボタン103をアクティブにする(S103)。ユーザが広告印刷ボタン103を押下すると、プリンタ5で当該広告コンテンツが印刷されて、消耗品使用量計測部47が、そのときに消費した消耗品の使用量を計測する(S105、106)。印刷が終了またはキャンセルされると、その印刷で消費した消耗品の使用量が、当該ユーザの会員IDと一緒に販売管理サーバへ送信される(S106)。これを受信した販売管理サーバ1では、会員情報管理部16が会員情報記憶部19のインク使用量197を更新する(S107)。

【0037】図5は、商品または役務を受注したときの、消耗品使用量に応じた割引処理のフローチャート図である。

【0038】ユーザが販売管理サーバ1へアクセスして、販売情報記憶部12から販売する商品または提供する役務に関する販売情報を取得して、表示画面100に表示する(S201)。販売情報に従って、ユーザが発注すると、受注処理部13が受注処理を行う(S202)。請求金額算出部14は、発注した会員の会員情報から消耗品使用量197を取得し、消耗品使用量に応じた割引を行って請求金額を決定する(S203、204)。割引に使用した分だけ、消耗品使用量197を減らす(S205)。そして、課金処理を行って代金を回収する(S206)。

【0039】本実施形態にかかる販売管理システムでは、消耗品使用量に応じた割引を行って商品等を販売しているが、ユーザへの還元方法はこれに限らない。例えば、消耗品使用量に応じた現物を提供したり、プレゼントをしてもよいし、もちろん現金で返還してもよい。

【0040】なお、販売管理サーバ1は、単一の事業者が運営していてもよいし、複数の事業者が共同で運営していてもよい。

【0041】単一の事業者が運営する好適な例として、

プリンタおよびその附属品の製造または販売を行う会社が運営する場合が考えられる。このとき、このプリンタ等の製造または販売を行う会社は、自社製品の広告や、自社のプリンタ用の印刷サンプルをコンテンツサーバ2へ登録しておく。ユーザがそれらのコンテンツ印刷に使用した消耗品使用量に応じて、自社製品、特にインクをオンライン販売する際の代金から割引を行う。

【0042】また、本実施形態では、販売管理サーバ1とコンテンツサーバ2とURL管理サーバ3とを分けているが、必ずしもこの分け方でなくてもよい。さらに、本実施形態では、販売管理サーバ1で消耗品使用量を管理しているが、必ずしも販売管理サーバ1で行わなくてもよい。つまり、すべての機能を1つのサーバ上で実現してもよいし、任意の機能を組み合わせて、複数のサーバ上で実現してもよい。

【0043】例えば、販売管理サーバ1とは異なるコンピュータが消耗品の使用量と会員IDとを対応付けて記憶しておき、当該コンピュータが会員からの注文を受け付けた販売管理サーバ1から、当該会員IDに基づいて、その会員についての消耗使用量の提示の要求を受けると、該当する消耗量を示す情報を販売管理サーバ1に送信するようにしてもよい。

【0044】

【発明の効果】本発明によれば、広告費用の負担技術が提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる実施形態における販売管理システムの全体構成を示す説明図である。

【図2】本発明にかかる実施形態における会員情報のデータ項目を示す説明図である。

【図3】本発明にかかる実施形態における表示画面の例を示す説明図である。

【図4】本発明にかかる実施形態における広告コンテンツ印刷処理時のフローチャート図である。

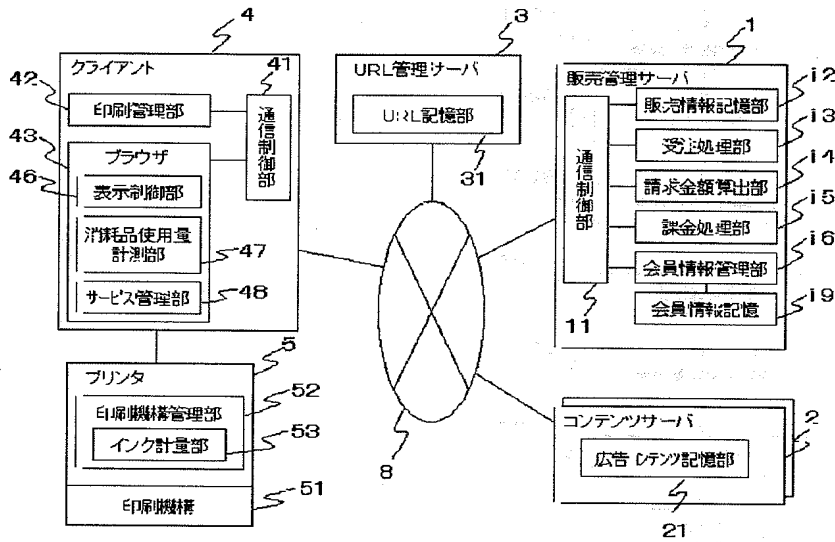
【図5】本発明にかかる実施形態における商品または役務を受注したときの、消耗品使用量に応じた割引処理のフローチャート図である。

【符号の説明】

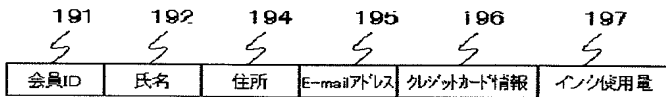
- 1…販売管理サーバ
- 2…コンテンツサーバ
- 3…URL管理サーバ
- 4…クライアント
- 5…プリンタ
- 8…ネットワーク
- 12…販売情報記憶部
- 14…請求金額算出部
- 15…課金処理部
- 42…印刷管理部
- 43…ブラウザ
- 51…印刷機構

52...印刷機構管理部

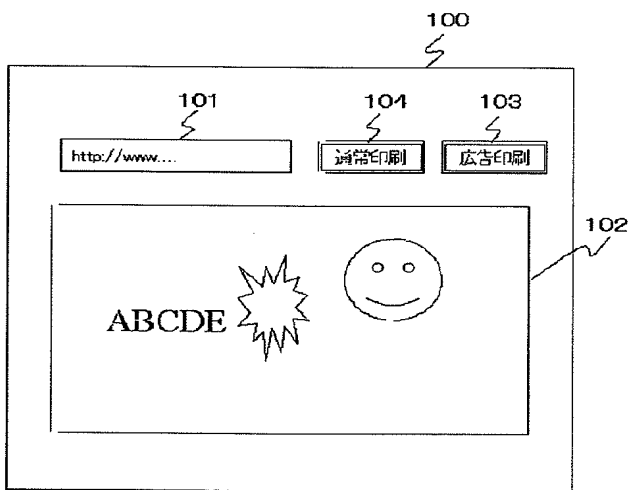
【図1】



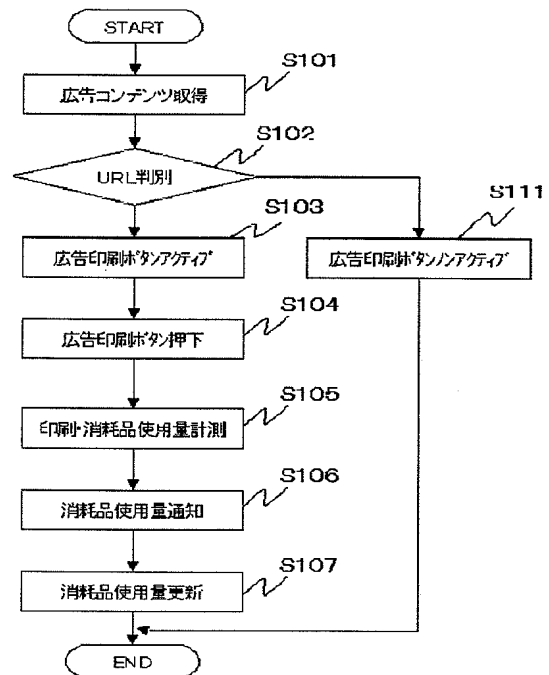
【図2】



【図3】



【図4】





【図5】

